

## 大地を潤す雨、心を潤す振舞

6月に入り、この時期はしとしとと雨が降り続き、「〇〇地方が梅雨に入りました」というニュースが聞かれるようになります。雨はうっとうしいものと感じてしまいがちですが、植物にとって、また農業に携わっている方にとっては大切な恵みの雨であることは言うまでもありません。捉え方によって感じ方・見方が変わる典型的な例だと言えるでしょう。



さて、雨を題材にした童謡と言えば北原白秋の“あめふり”が思い起こされます。この曲は5番まであり、そこには“お母さんが迎えにきてくれるうれしさ”と“雨に濡れる友人に傘を差しだす友情”が描かれています。

毎日、子どもたちの登校を見守っていますと様々な瞬間を見ることができます。ある日、低学年の男の子が足取りも重く、浮かない表情で坂を登ってきていました。すると、後ろから来た高学年の女の子が一声かけて、手をつないで坂を登って一緒に玄関までつれていってくれました。この2人は兄弟姉妹ではありません。ただ、高学年の子はただ気になって声をかけ、一緒につれていってくれたのだと思います。実は同じ光景はこの子たち以外にも何度か目にしています。南が丘小学校の子どもたちのこの何気ない振舞には本当に感心されます。何かをしてもらうことが当たり前になり、してもらえないと不満に感じてしまう子ではなく、誰が見ていてもいなくても、褒められなくてもさりげなく行動できる子どもたちが1人でも2人でも増えていき、お互いの心を潤す学校になってほしいと思います。

あらあらあの子はさぶ濡れだ  
やなぎの根方で泣いている  
ピチピチチャップチャップ ランランラン

母さん僕のを貸しましょうか  
君きみ 僕のをさしたまえ  
ピチピチチャップチャップ ランランラン

## 親子防災教室がありました

南が丘学校支援員会の安全推進部会が中心となって小中学校児童生徒・保護者が対象の親子防災教室が行われました。今年1月1日に能登半島を中心とする大きな地震が発生しました。南海トラフ大地震エリアとよばれる四国付近・紀伊半島沖においても繰り返し地震が発生しており、まさにいつ発生してもおかしくない状況が続いています。

親子防災教室では地震の揺れを体験できる起震車に乗せていただいたり、煙体験、消火器訓練などをさせていただいたり、保存食やライト、バッテリーなどを展示していただいたり、さらに災害伝言サービスについての話を聞かせていただいたり…と短時間ででしたが内容がとても充実していました。各ご家庭におかれましても今一度備蓄品や家族の連絡手段、避難場所等について話し合ってください。右のQRコードで防災教室の様子を見ていただけます。（本校HP）

